



## I 事業報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-01-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/00017875">http://hdl.handle.net/10466/00017875</a>

# I 事業報告

## ■ 大阪府立大学図書館の100年

### 1 はじめに

2022年4月に大阪公立大学が開学し、図書館も大阪公立大学図書館として新たなスタートを切った。大阪府立大学は、2005年の大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学の統合、法人化を経て、2023年に創基140年を迎えるが、図書館にも約100年にわたる長い歴史がある。大学史については、創基130周年事業の一環として「大阪府立大学130年の歩み」が発行されているが、図書館史については、法人化以前に発行された各大学史等に僅かな記載があるのみで、独立した記録はない。大学統合如何に関わらず、前身を含む大阪府立大学図書館の沿革についてまとめることは、かねてより懸案事項となっていたが、大阪府立大学図書館年報の最終号にあたり、ここに可能な範囲での図書館の歴史を記録することとする。

法人化以前の大阪府立大学に関しては、1999（平成11）年に「府立大学50年史」刊行計画があり、そこに図書館史も掲載する予定であったらしく、総合情報センターの時代に準備されていた手書き資料が事務引継ぎ資料として残っていた。前身を含む大阪女子大学、大阪府立看護大学、大阪社会事業短期大学の図書館については、C5棟の学内刊行物コーナーに保存している各大学史や同窓会誌などを参考にし、「大阪府立大学130年の歩み」をもとに、大学の変遷と連動した図書館施設や組織を中心に記載することとした。図書館資料やサービスについてなど、図書館としては重要な事項についての記載がない中途半端な内容になっていること、現存する資料の多寡によって記載内容や分量に差があること、何より資料調査が不十分なことなどをご容赦いただきたく、最初にお断りしておく。

### (参考文献)

大阪府立大学創基130年事業企画委員会編 2013 『大阪府立大学130年の歩み』 公立大学法人大阪府立大学

### 2 大阪府女子専門学校 大阪女子大学

1924（大正13）年、大阪府女子専門学校は大阪府立阿倍野高等女学校を仮校舎として開学した。その校舎の2階に設置された図書室が、資料に残っている最初の図書館の記録である。翌1925（大正14）年に東成郡住吉村帝塚山（現大阪市住吉区帝塚山）の新学舎（写真①）に移転したが、そこでも独立施設としての図書館はなく、3階の2教室を図書閲覧室と事務室に充て、その後図書の増加により図書閲覧室を書庫に、事務室を図書閲覧室と事務室に変更した（写真②）。

1949（昭和24）年、大阪府女子専門学校は大学へ昇格して大阪女子大学となった。新制大学の「大学設置基準」では図書館が必須となったため、同窓会斐文会から資金援助を得て図書館を新築することとなった。1951（昭和26）年、鉄筋コンクリート3階建の新図書館が完成し、本館3階の図書閲覧室から約48,000冊の図書を学内総動員のリレー方式で移動した（写真③）。開館当初は、全面接架制、安全開架方式<sup>1)</sup>、貸出は禁止であったが、1956（昭和31）年に附属図書館規程を制定し、学生や卒業生への図書の貸出（2冊10日）を開始した。



② 図書閲覧室



① 帝塚山学舎



③ 図書搬送

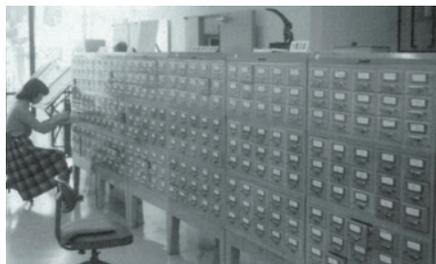
1976（昭和51）年、大阪女子大学は大仙学舎に移転し、鉄筋コンクリート4階建の新図書館が完成した（写真④⑤）。大仙学舎移転以降、開学当初からの寄贈者である山田家からの寄付による山田文庫、初代瀧村校長や多数の教員からの寄贈資料に加えて、上方古典芸能資料、初期洋学資料などの収集のための予算化を図り、貴重書の計画的な収集、保存を行った。1989（平成元）年には、これらの貴重書が国文学研究資料館のマイクロフィルム事業の対象となった。



④大仙図書館



⑤大仙図書館入口



⑥大仙目録カード

1988（昭和63）年、大阪府立大学と共同で目録のデータベース化を開始、1993（平成5）年からは、学内LANを利用して府大、女子大共同の図書館システム（OPAL）の運用を始め、目録カード<sup>2)</sup>は廃止した。1999（平成11）年からは、大阪女子大学独自の図書館システムを構築し、インターネット経由で図書館外からも蔵書検索が可能となった。

2005（平成17）年の大学統合により、大仙キャンパスは2007（平成19）年3月で閉鎖することが決定した。所蔵図書の中百舌鳥キャンパスの学術情報センター図書館に移管することとなったが、収容スペースに限界があるため、約30万冊の所蔵資料の重複状況等を調査の上移管資料を精査し、貴重図書を含む約20万冊を移管した。重複等で不用となった資料は有効活用を図るため、大阪府立図書館、堺市立図書館等から引き取り希望のあったものを譲渡し、約6万冊を国際交流の一環として中国の黒竜江大学等に寄贈した。

#### （参考文献）

- 斐文会編 1965 『回顧40年』 大阪女子大学斐文会  
 五十周年記念事業委員会編 1976 『大阪女子大学五十年史』 大阪女子大学  
 斐文会五十年会報編集委員会編 1979 『斐文会五十年 会報266号 総集』 大阪女子大学斐文会  
 70年史編集委員会編 1994 『大阪女子大学七十年の歩み』 大阪女子大学  
 80年史編集委員会編 2005 『大阪女子大学80年の歴史』 大阪女子大学  
 斐文会八十年編集委員会編 2008 『大阪女子大学斐文会八十年』Ⅰ～Ⅲ 大阪女子大学斐文会  
 山中浩之「女子大蔵書がもたらしたもの」『学術情報センター年報 情報』14号 2008年7月 p1-2  
 府女専資料刊行会編 2014 『大阪府女子専門学校十年史草稿』 大阪公立大学共同出版会

#### 【注】

- 1) 「網をはった手製の書架にぐるっととりまかれた書架ブロックの中心が閲覧事務室になっていて（中略）学生が「ちょっと」と声をかけて網ごしに指先で押出す本をとってはカウンターへ走って渡していた。いわゆる安全接架式という方式」（吉矢淳子「11年間のわが職場図書館を去るにあたって」『大学だより』[大阪府立大学]6号 1970年5月 p38-42）
- 2) 目録カード（写真⑥） 図書情報データベース化以前は、各図書の情報をカードに記載したカード目録を作成し、タイトルや著者の五十音などの順でカードケースに排列してそれを検索していた。

### 3 大阪社会事業短期大学 大阪府立大学社会福祉学部

1950（昭和25）年、大阪社会事業短期大学が大阪市南区田島町に開設された。木骨コンクリート3階建の校舎に図書閲覧室と書庫を設置し、戦前及び戦後初期からの社会福祉領域の資料を整備した。1955（昭和30）年に図書館に社会福祉資料室を設置し、社会福祉関連の大学紀要、和洋雑誌などに加えて、市販されていない不定期刊行物や二次文献資料の寄贈依頼を行うなど網羅的な収集を行った。

1959（昭和34）年の大阪市天王寺区夕陽丘への学舎移転に際し、2階に閲覧室、1階と地下1階に書庫を擁する附属図書館を設置した（写真⑦）。



⑦夕陽丘学舎

1981（昭和56）年に大阪社会事業短期大学と大阪府立大学が統合して社会福祉学部を創設し、母体校である大阪社会事業短期大学附属図書館の施設、資料を受け継いで、大阪府立大学社会福祉学部図書室とした。

1987（昭和62）年に社会福祉学部は中百舌鳥キャンパス（現A4棟）に移転、同8月に図書室も移転し、大阪府立大学の学部図書室として他学部学生へもサービスを拡充した（写真⑧⑨）。

2005（平成17）年の大学統合時に社会福祉学部は人間社会学部へ改組され、図書室も人間社会学部図書室と名称を変更した。2012（平成24）年の学域、学類制への改組時には、図書館も部局図書室制から専門図書室制へと体制を変更し、人間社会学部図書室はヒューマンサイエンス系図書室として専門図書室を構成することとなった。



⑧図書室



⑨資料室

#### （参考文献）

- 大阪社会事業短期大学 [編] 1980 『大阪社会事業短期大学創立三十周年記念誌』 大阪社会事業短期大学  
 庄谷怜子「社会学部図書室の発足に当たって」『図書館だより』第12号  
 1982年3月 p1-3  
 大阪府立大学社会福祉学部編 1991 『10年の歩み』 大阪府立大学社会福祉学部  
 大阪府立大学人間社会学部記念誌編集委員会編 2008 『大阪府立大学社会福祉学部社会福祉学研究科27年の歩み』 大阪府立大学社会福祉学部社会福祉学研究科

#### 4 大阪府立看護短期大学 大阪府立看護大学・大阪府立看護大学医療技術短期大学部

1978（昭和53）年、大阪府立看護短期大学が旧大阪女子大学の跡地（大阪市住吉区帝塚山）（写真⑩）に開学し、本館1階に附属図書館（閲覧室、書庫、事務室）を設置した（元大阪女子大学図書館の施設は図書館としては利用せず）。



⑩帝塚山学舎

1994（平成6）年に、大阪府立看護短期大学を母体とする大阪府立看護大学・同医療技術短期大学部が、大阪府羽曳野市に開学し、大阪府立看護短期大学の蔵書約44,000冊と新たに購入した資料を合わせて約83,000冊を所蔵する大阪府立看護大学・同医療技術短期大学部附属図書館を開館した。当時の看護学系図書館としては国内最大級であった。

2005（平成17）年の府立三大学の統合にあたり、大阪府立看護大学・同医療技術短期大学部附属図書館は羽曳野図書センター（写真⑪⑫）に名称を変え、中百舌鳥キャンパス、大仙キャンパスの図書館と連携し、大阪府立大学の全学生、教職員へのサービスを行うこととなった。



⑪羽曳野  
図書厚生棟



⑫羽曳野  
図書センター

#### （参考文献）

- 大阪府立看護短期大学 [編] 1983 『大阪府立看護短期大学創立五周年記念誌：1978-1982』 大阪府立看護短期大学  
 大阪府立看護大学看護学部10周年記念実行委員会委員編 2005 『大阪府立看護大学看護学部10周年記念誌』 大阪府立看護大学看護学部

## 5 浪速大学 大阪府立大学

1949 (昭和24) 年、浪速大学が設立され、母体校 (官立大阪工業専門学校、官立大阪青年師範学校、府立化学工業専門学校、府立機械工業専門学校、府立淀川工業専門学校、大阪農業専門学校、大阪獣医畜産専門学校) および府立浪速高等学校 (旧制) の図書を基本として、大学本部のある堺市耳原町の旧大阪府立化学工業専門学校内に附属図書館が発足したが、図書は分散配置されていた。1951 (昭和26) 年に旧浪高、旧大工専、化工専の図書を整理して中百舌鳥学舎に集約し、教養部講義室の一室を学生図書閲覧室として開室、浪速大学附属図書館規程を施行した。

1955 (昭和30) 年、浪速大学は大阪府立大学に名称を変更し、分散配置された資料を集約するため、1959 (昭和34) 年に5層建ての書庫を新設し、1961 (昭和36) 年大阪府立大学新図書館 (現A3棟) が開館した (写真⑬~⑮)。



⑬ 図書館全景



⑭ 図書館  
カウンター



⑮ 図書館書庫

1959 (昭和34) 年に浪速大学附属図書館規程を大阪府立大学附属図書館規程に全面改訂し、各研究室図書の分置制度が発足したが、中央図書館と分室との機能、連携体制などについて学内で議論があり、1977 (昭和52) 年、大阪府立大学図書館規程を制定し、附属図書館は中央館と学部図書室 (農学部、工業短期大学部、経済学部、工学部、昭和53年に総合科学部が追加) から成ることを明文化した。

中央図書館では全学向けサービスとして、1965 (昭和40) 年に館内にコピー機を設置して複写業務を開始 (学内料金25円)、1969 (昭和44) 年に靴履入館を実施し入館者が増加した。1988 (昭和63) 年閲覧室に冷房機を設置、1989 (平成元) 年NACISIS-IR、DIALOG<sup>3)</sup>等の有料情報検索の公費サービスを開始した。

1970年代後半からは図書館の電算化が始まり、1977 (昭和52) 年、大阪府情報管理課のコンピュータを利用して増加図書目録索引の作成を開始、1982 (昭和57) 年、図書館業務の電算化について検討するため、学術情報システム開発小委員会を設置した。1984 (昭和59) 年、工学部図書室職員が開発した和書DBシステムが稼働し、総合科学部、経済学部、農学部の各図書室にも導入、1988 (昭和63) 年からは大阪府立大学図書データベースシステム (BOOKS) での入力を開始した。

### (総合情報センター図書館)

1993 (平成5) 年に図書館と計算センター、ホールから成る複合施設として大阪府立大学総合情報センター (現C5棟) がオープンし、総合情報センター図書館が大阪府立大学の中央図書館として位置づけられた。各部局に設置された図書室 (工学部、農学部、経済学部、社会福祉学部、先端科学研究所、総合科学部) は、各部局の予算、方針で運営されていたが、総合情報センター図書館が中核となり連携協力体制をとることとなった。

総合情報センターオープンと同時に、図書館システム (OPAL) が稼働し、学内LANを経由して府立大学総合情報センター、大阪女子大学附属図書館が共同で図書データベースを構築することとなった。当時はインターネットも一般には普及しておらず、館外からの蔵書検索は、大阪府行政情報提供ネットワークサービス (O-net24) に接続して運用していた。

### (参考文献)

- 大阪府立大学10年史編集委員会編 1961 『大阪府立大学十年史』 大阪府立大学  
大阪府立大学附属図書館編 1980 『大阪府立大学附属図書館30周年記念誌』 大阪府立大学附属図書館

### [注]

- 3) 「マルゼンがロッキード・ミサイル・スペース社 (航空機のロッキード社とは別) と連携して1978年1月から太平洋をはさんで情報サービスを始めることになった。(中略) 依頼した第二次文献のリストは10日間余りで利用者の手元に届くことになる。料金はアブストラクトで1件3万円程度。入会金6万円の会員制である。検索料金は基本料金1万5千円プラスアクチュアルコストである。」 (『マルゼンDIALOG検索サービス研修会参加報告』『大阪府立大学附属図書館報 図書館だより』 創刊号 1978年4月 p9-10)

## 6 大阪府立三大学統合、法人化

2005 (平成17) 年の大阪府立三大学統合に際し、総合情報センター図書館を学術情報センター図書館 (以下「学情C図書館」) に改称し、新大阪府立大学の総合図書館として位置づけた。大阪女子大学附属図書館 (以下「女子大図書館」)、大阪府立看護大学・大阪府立看護大学医療技術短期大学部附属図書館から改称した羽曳野図書館センター (以下「羽図C」)、中百舌鳥キャンパスに設置した7部局図書室 (工学部、生命環境科学部、理学部、経済学部、人間社会学部、総合教育研究機構、産学官連携機構) の図書館組織で連携・協力体制をとることとなった。学情C図書館館長を委員長とする大阪府立大学学術情報センター図書館委員会 (以下「図書館委員会」) を発足し、各部局からの選出委員で図書館等の運営に関する基本方針や、学術情報の提供・管理等について審議す

ることとなった。法人化以前より懸案事項となっていた電子ジャーナルの導入について検討を行い、2006（平成18）年より、電子ジャーナル約6,000タイトルと10種のデータベースを全学経費により導入した。

2007（平成19）年に女子大図書館は閉館となり、図書約20万冊を学情C図書館に移管した。そのため地下1階書庫に集密書架を設置、貴重書庫の床を木製に張り替えるなど施設整備を行った（写真⑯⑰）。

2009（平成21）年、生命環境科学研究科獣医学専攻のりんくうキャンパス移転に伴い、りんくう図書室（生命環境科学研究科図書室の分室）を設置し（写真⑱）、中舌舌鳥キャンパスから関連資料を移管した。

2008～2009（平成20～21）年に国立情報学研究所の「最先端学術情報基盤整備（CSI）事業（リポジトリ構築）」に採択され、2009（平成21）年学術情報リポジトリ（OPERA）を開設し、学内で生産された学術情報のインターネットでの公開を開始した。

業務執行体制においては、2008（平成20）年より工学部、生命環境科学部、理学部、総合教育研究機構、産学官連携機構の図書、雑誌、受入整理、支払い業務を学術情報グループへ集中化し、2010（平成22）年、学情C図書館、羽図Cの開館時間延長に伴い、閲覧業務を委託化した。また図書資産の適正管理のため、監査法人や財務課と検討を重ね、2010（平成22）年から3年間にわたって全学の研究所蔵図書の調査を実施し、図書の区分、データ整備等を行った。



⑯地下集密書架



⑰和装本コーナー



⑱りんくう図書室

## 7 専門図書室の設置 4学域13学類体制

2012（平成24）年の4学域13学類への改組に合わせて図書館体制についても大きく変更することとなった。2011年度末に、工学部、生命環境科学部、高等教育推進機構、地域連携研究機構図書室を閉室し、所蔵資料を精査のうえ、学情C図書館と4月開室の理系ジャーナルセンター（以下「理系JC」）に移管した。経済学部図書室を経済・経営・法律系図書室（以下「経済図書室」）、人間社会学部図書室をヒューマンサイエンス系図書室（以下「HS図書室」）に名称変更し、羽図C、りんくう図書室と合わせて専門図書室とし専門図書室長を配置、新体制に対応した規程類の整備を行った。図書館部長に替わって配置された学情C図書館長が図書館委員会の委員長となり、専門図書室を含む全図書館を統括し、各専門図書室に関する事項は、専門図書室委員会で審議することとした。同年より開講された初年次ゼミナール受講生を対象とした図書館ツアーを実施、C5棟に続きB2棟に自主学習スペースとしてラーニングコモンズをオープンした。

業務執行体制においては、全キャンパスの図書、雑誌受入整理業務およびりんくう図書室を除く全図書館の閲覧サービスの委託化を行い、予算管理を含む図書館業務の全体統括を学術情報室で担当することとなった。

三大学統合以降、学情C図書館は本学の総合図書館として全学図書館を統括してきたが、サービス提供施設としての図書館と、組織運営機能の役割が混乱していたため、2015（平成27）年の図書館委員会で検討した結果、2016（平成28）年4月より、中舌舌鳥キャンパスC5棟にある図書館を「大阪府立大学総合図書館中舌舌鳥」（以下「総合図書館中舌舌鳥」）と改称し、5つの専門図書室と併せた6者を「学術情報センター図書館」と称することとなった。

2019（平成31）年、公立大学法人大阪府立大学と公立大学法人大阪市立大学が統合して公立大学法人大阪となり、大学統合後の図書館管理運営について、両大学の関係教職員で定期的に委員会、打ち合わせ等を行い検討した。

### （参考文献）

「法人化以降の図書館—組織・サービス・運営体制の変遷—」『学術情報センター年報 情報』第19号 2013年 p8-13  
<http://hdl.handle.net/10466/12915> (accessed 2022-08-10)

## 8 おわりに

冒頭でもお断りしたように、不十分な内容ではあるが、前身校を含む大阪府立大学図書館の歴史の概略を紹介することができた。当然のことであるが、大学図書館の歴史は大学の歴史と連動している。大阪府立大学は、前身校からの変遷が複雑なうえに、大阪府立大学となってからも部局の再編等が重ねられてきたが、図書館にはその変遷を経た資料が今も残っている。

どの時代にも、図書館は利用者が必要とする資料を届けること、特に大学では教育、研究支援という大きな役割が課せられてきたことをあらためて感じている。それとともに、必要な資料を保存し続けることも重要である。今は使われないかもしれないが、過去に必要とされた資料、そしてこれから何十年か先に必要とされる資料、大阪府立大学の前身校で受け入れられた資料も、大阪公立大学図書館へ引き継がれた。

## 大阪府立大学図書館年表

◎大阪府立大学 ○大阪女子大学 ◇大阪府立看護短期大学・大阪府立看護大学 □大阪社会事業短期大学

西暦	和暦	主な出来事
1924	大正13年	◎大阪府女子専門学校発足。大阪府立阿倍野高等女学校を仮校舎とする。2階に図書室を設置
1925	大正14年	○帝塚山学舎（東成郡住吉村帝塚山：現大阪市住吉区帝塚山）に移転 独立施設としての図書館はなく3階の2教室を図書閲覧室（99㎡）と事務室（59.4㎡）に充てる
1928	昭和3年	○10条から成る「図書閲覧心得」（別紙）を制定。全面接架制・安全開架方式、貸出禁止
1949	昭和24年	◎浪速大学設置。附属図書館発足 ○大阪女子大学設置
1950	昭和25年	□大阪社会事業短期大学設置（大阪市南区田島町：現大阪市中央区法円坂） 図書閲覧室37.36㎡、書庫46.28㎡
1951	昭和26年	◎中百舌学舎学生図書閲覧室を開室 ◎旧浪高、旧大工専、化工専図書の整理開始 ○斐文会から資金援助を得て図書館を新築（鉄筋コンクリート3階建）。旧図書館（3室）の図書約48,000冊をリレー方式で移動
1952	昭和27年	◎大工専図書、浪高図書を図書館へ移管 ◎浪速大学附属図書館規程施行 ○館外貸出を試行
1953	昭和28年	◎中百舌第2棟の教養部教室を閲覧室として利用
1954	昭和29年	◎耳原町事務局の本館庶務室を中百舌本館事務室に吸収
1955	昭和30年	◎浪速大学から大阪府立大学に名称変更 □大阪社会事業短期大学図書館に社会福祉資料室設置
1956	昭和31年	◎中百舌学舎の教育学部教養学科図書室、工学部図書室を本館司書係に吸収 新書庫5層の内第1層の書架が完成、旧浪高図書を収容 ○附属図書館規程を制定、学生や卒業生への図書の貸出開始（2冊10日）
1957	昭和32年	◎教育学部廃止に伴い城之山学舎図書室の蔵書約9千5百冊を移管
1958	昭和33年	◎附属図書館規程施行 ◎書庫4、5層が完成 旧蔵移管図書の本格的整理を開始 □図書館規程、図書閲覧規程制定
1959	昭和34年	◎附属図書館規程施行細則施行 附属図書館委員会規程決定 ◎書庫各層へ書架設置 □大阪社会事業短期大学、大阪市天王寺区夕陽丘に移転 附属図書館180.94㎡。鉄筋コンクリート2階、地下1階
1961	昭和36年	◎大阪府立大学新図書館（現A3棟）開館
1962	昭和37年	○図書館増築、第2閲覧室、視聴覚室を設置
1963	昭和38年	◎増加図書目録、雑誌目録の発行を開始。指定図書制度を採用
1965	昭和40年	◎コピー機を設置し複写業務を開始（料金：学内25円、学外30円）
1969	昭和44年	◎靴履入館実施 入館者の増加。 ◎農学部図書分室が大仙から中百舌へ移転
1972	昭和47年	◎○□大阪府三大学司書研修を開始
1976	昭和51年	○大阪女子大学が大仙に移転。大仙学舎に新図書館が完成。鉄筋コンクリート4階建：延2,271.73㎡、蔵書冊数138,241冊
1977	昭和52年	◎学部図書室制度が発足 ◎大仙学舎移転時の山田家からの寄付による山田文庫の整備・拡充
1978	昭和53年	◇大阪府立看護短期大学が旧大阪女子大学学舎（帝塚山）に開学。図書館は本館1階の3室（閲覧室2室、書庫1室）で開設 ◎「図書館だより」創刊号刊行（40号1992（平成4）年9月終刊） ○大学院設置により図書貸出冊数を院生は5冊3週間、学生は3冊2週間に変更
1979	昭和54年	◎パンチングマシンを計算センターから図書館に搬入
1980	昭和55年	◎昭和55年度指定図書より冊子体目録を作成し配布 ◎「大阪府立大学附属図書館30周年記念誌」刊行
1981	昭和56年	◎中央図書館閲覧関係施設を改装 ◎工学部図書室が5号館から8号館へ移転 ○授業公開講座の開設に伴い一般受講生に対し図書館を開放（貸出条件は学生と同様） ○特色ある資料「上方古典芸能資料」の収集開始 □大阪社会事業短期大学と大阪府立大学が統合し、社会福祉学部創設。夕陽丘学舎に大阪府立大学社会福祉学部図書室開設
1982	昭和57年	◎図書館業務の電算化検討のため、学術情報システム開発小委員会を設置
1983	昭和58年	◎総合情報センター（仮称）準備委員会を設置
1984	昭和59年	◎工学部図書室和書DBシステム稼働 ○特色ある資料「初期洋学資料」の収集開始
1986	昭和61年	◎工学部図書室洋書DBシステム稼働 その後総合科学部、経済学部、農学部の各図書室でも稼働
1987	昭和62年	◎□社会福祉学部図書室が中百舌鳥キャンパス（現A4棟）に移転
1988	昭和63年	◎大阪府立大学図書データベースシステム（BOOKS）入力開始 ◎中央図書館閲覧室に冷房機を設置 ◎「大阪府立大学総合情報センター（仮称）基本計画」を策定 ○大阪府立大学計算センターの汎用電算機を利用して目録のデータベース化を開始
1989	平成元年	◎総合情報センター建設推進委員会設置 ◎情報検索NACSIS-IR、DIALOGの公費による検索サービスを開始 ○特色ある資料「上方言葉資料」の収集開始 ○AVブースを図書館2階ロビーに設置 ○国文学研究資料館のマイクロフィルム事業により、貴重書のマイクロフィルム化
1990	平成2年	○「山片蟠桃賞」関連図書の収集開始

西暦	和暦	主な出来事
1991	平成3年	◎学術情報ネットワーク加入完了
1993	平成5年	◎総合情報センターオープン。図書館システムOPAL本稼働 ◎大阪府行政情報提供ネットワークサービス (O-net24) に接続して蔵書検索サービス開始 ◎学内LANを経由して府立大学総合情報センターと共同図書データベースを構築。図書館システム (OPAL) による目録データ作成開始。目録カードを廃止。利用者用端末3台、業務用端末5台を設置
1994	平成6年	◇大阪府立看護短期大学を母体とする、大阪府立看護大学・同医療技術短期大学部を開学。大阪府立看護大学・同医療技術短期大学部附属図書館を設置 ◎『アウリオン：大阪府立大学総合情報センター報』創刊
1995	平成7年	◎『総合情報センター年報』創刊 ◎書庫一階に電動集密書架を設置、雑誌室 (2階) に書架を設置し第2閲覧室とした
1999	平成11年	◎OPALの使用を中止し大阪女子大学独自の図書館システムを構築。インターネット経由で図書館外からも蔵書検索が可能となった。
2005	平成17年	3大学 (大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学) 統合、法人化 ・学術情報センター図書館委員会の立ち上げ、全学コアジャーナルの選定 ・3キャンパス間図書取寄せサービスの実施 ・学生選書の実施 ・指定図書制度の見直し ・学情C図書館B1Fに集密書架設置 『アウリオン』2005年21号より『総合情報センター報』から『学術情報センター報』にタイトル変更 ・学術情報センター図書館選書会議の実施
2006	平成18年	◇大阪府立看護大学医療技術短期大学部廃止 ・電子ジャーナルの本格導入 (約6500タイトル) ・学情C図書館リニューアル (貴重書庫改修、和装本コーナー設置。中尾佐助コーナーをB1Fから1Fに移設。出身作家・教員著作・語学の各コーナーを新設) ・『総合情報センター年報』2006年12号より『学術情報センター年報』にタイトル変更 ・羽曳野図書館開館時間延長 月曜～金曜9:00～20:00 土曜10:30～19:00
2007	平成19年	◎大阪女子大学附属図書館閉館 (平成19年3月)。図書約20万冊を学情C図書館に移管 ・図書館システムリプレイス (旧3大学図書館システムの統合) ・大阪府立図書館との相互協力連携協定の締結 ・大阪市立大学学術情報総合センターとの相互協力事業に関する覚書締結
2008	平成20年	・総合教育研究機構図書室をA15棟からB3棟へ移転 ・国立情報学研究所の「最先端学術情報基盤整備 (CSI) 事業 (リポジトリ構築) に採択
2009	平成21年	・経済学部図書室をB2棟からB3棟へ移転 ・理学部図書室を閉室 ・学術情報リポジトリ (OPERA) の公開 ・貴重図書専門部会の立ち上げ ・獣医学専攻がりんくうキャンパスへ移転。りんくう図書室開室 ・闘病記文庫さくらんぼを羽曳野図書館センターに移設
2010	平成22年	・学情C図書館開館時間の延長 月曜～金曜9:00～21:00 土・日曜10:00～17:00。開館時間延長時の閲覧業務の委託化 ・学情C図書館B1Fに集密書架設置 (B1F収蔵可能冊数約40万冊) ・電子ジャーナルバックファイル購入 ・大阪府立産業技術総合研究所との覚書締結 ・研究室図書調査を実施 (理学、人間社会学、総合教育研究機構、産学官連携機構) ・貴重図書のデジタル化および貴重書データベースの構築
2011	平成23年	・学情C図書館、羽図C開館時間の延長 月曜～金曜8:30～21:00 ・C5棟ラーニングコモンズオープン ・貸出パソコンサービス開始 ・「読ン得本々：新入生に薦める100冊の本より」を大阪府立大学生生活協同組合、大阪公立大学共同出版会と共同制作 ・研究室図書調査の実施 (工、生命環境、経済、看護、総リハ) ・学情C図書館、羽図C、経済図書室、人社図書室の閲覧業務の委託化 ・全学図書・雑誌受入等業務を学情グループへ集中化
2012	平成24年	・4学域13学類体制開始。部局図書室を廃止し専門図書室を設置。 ・B2棟1階にラーニングコモンズをオープン ・工学部・生命環境科学部・高等教育推進機構、地域連携研究機構図書室を閉室し、理系資料を理系ジャーナルセンター、学情C図書館に移管 ・初年次ゼミでの図書館ツアー実施 ・『アウリオン』2013年36号より『学術情報センター報』から『学術情報センター図書館広報誌』にタイトル変更
2014	平成26年	・学生の図書館利用推進を図るイベントとしてLibrary Monthを開催
2015	平成27年	・B2棟ラーニングコモンズにTA配置
2016	平成28年	・C5棟図書館を「学術情報センター図書館」から「総合図書館中百舌鳥」に名称変更。総合図書館中百舌鳥と5つの専門図書室からなる図書館組織を「学術情報センター図書館」とする。 ・地下2階書庫カビ被害が発生。業者による燻蒸対策実施
2017	平成29年	・総合図書館中百舌鳥にhistoria開設。記念展示「大阪府立大学の歩み」実施 ・「公立大学法人大阪府立大学オープンアクセス方針」施行 ・学内公費文献複写サービスの拡充
2018	平成30年	・『学術情報センター図書館年報』発刊 ・拡大読書器、電子メモパッドの設置
2019	平成31年	・法人統合 (公立大学法人大阪) ・リポジトリシステムリプレイス (Dspace→JAIRO Cloud) ・府大・市大シンポジウム「オープンアクセス：これまでとこれから」開催 ・研究者インタビューの実施
2020	令和2年	・新型コロナウイルス感染拡大防止に対応したサービスの実施
2022	令和4年	・大阪公立大学発足

## ■ 新大学図書館に向けての検討

2022年4月にスタートする大阪公立大学図書館の管理運営方針、サービス内容などについて、大阪府立大学、大阪市立大学の学術情報課職員、関係教員等で検討を行った。

### 1 図書館WG

新大学推進委員会のもとに、両大学図書館の責任者、担当者及び新大学設置準備室で構成する図書館WGを設置し、下記の内容について検討を行った。

- 新大学の図書館（ラーニングcommonsを含む）に関する課題と解決方法案
- 既存図書館の活用方法を含む施設整備方針案
- 電子ジャーナルや蔵書の整備方針案
- 新大学の図書館の運営方法 など

2019年9月から2022年3月まで計36回開催し、電子ジャーナル整備、オープンアクセス方針については、研究推進WGとの合同会議で検討を行った。

### 2 図書館準備委員会

新大学の図書館運営に関する事項の審議を行うため、各新学部等設置準備委員会から推薦された委員、大阪府立大学学術情報センター図書館長、大阪市立大学学術情報総合センター所長から成る図書館準備委員会を設置し、大阪府立大学西田副学長を委員長として、下記のとおり開催した。

回	開催日	議事内容
1	2021年 6月23日（水）	【審議事項】 ①委員長・副委員長の選出 ②新大学の図書館サービス 【報告事項】 ①これまでの図書館WGでの検討事項
2	2021年 9月6日（月）	【審議事項】 ①新入生向けお薦め図書 ②シラバス図書の購入 【報告事項】 ①学外者サービス
3	2021年 12月6日（月）	【報告事項】 ①新大学図書館組織 ②新大学図書館名称 ③新大学図書館関連規程 ④新大学図書館の貸出条件 ⑤新大学における図書の取り扱い
4	2022年 3月10日（木）	【報告事項】 ①大阪公立大学資料収集方針 ②大阪公立大学図書管理 ③各図書館利用要綱 ④各キャンパス図書館委員会要綱 ⑤新入生に薦める100冊の本 ⑥大阪公立大学での電子ジャーナル等の利用

### 3 図書館業務検討WG

両大学学術情報課職員で月2回ミーティングを行い、要検討課題について協議、調整を行った。主な検討内容は以下のとおり。

区分	検討内容
図書	図書資産の扱いについて検討し、財務課、監査法人への確認調整 大阪公立大学図書館資料収集方針を策定
雑誌	新大学購読調査（外国雑誌、国内雑誌）方法の検討調整
電子ジャーナル	両大学での契約状況を確認し、パッケージタイトル、バックファイル等の価格、利用条件等について出版社と交渉 2022年度全学経費契約タイトル案を作成し、図書館WG、研究推進WGで協議、予算要求 ネットワーク環境について情報戦略課と調整
図書館システム	図書館システム統一に向けて検討 2022年度内に府大図書館システムを市大図書館システムに移行
閲覧サービス	図書貸出条件（図書館利用者カード、学外登録者制度）の調整 図書館業務委託契約にかかる調整
規程類	規程のほか、利用要綱、要領等作成
広報	図書館紹介動画の作成 ライブラリーガイドの作成 ウェブサイトの構築

## ■ 大阪府立大学図書館 新型コロナウイルス感染症への対応：2021年

### はじめに

2020年に世界中をパンデミックに巻き込んだ新型コロナウイルス（以下「COVID-19」という。）は、2021年においても鎮静化することはなかった。治療法が模索されワクチン接種による予防策が講じられる一方で、アルファ株やデルタ株などの感染力の強い変異ウイルスの発生・拡散により、国内の新規感染者数は2020年度感染ピークの第3波を上回り、第4波から第6波へと増加し続けた。

本学では、大阪府、国の対策方針や指示のもと、感染拡大防止のため授業実施等に制限が加えられ、教育研究に大きな影響を受けた。2021年度前期はほぼオンラインでの授業開講となり、後期は対面授業を基本として開始されたが、第6波の時期にあたる2022年1月にはオンライン授業を基本とする方針に変更せざるを得なかった。これらの状況に図書館がどのように対応したか、その経過を記録する。

### 1 第4波から第6波まで

#### 2021年4月～6月（第4波）

2021年1月13日に大阪府に発出された緊急事態宣言（～2月7日、その後3月7日まで延長）の解除後、大阪モデルはイエローステージ（警戒）となった。しかし、4月5日には「まん延防止等重点措置」の対象となり、大阪モデルもレッドステージ（非常事態）に引き上げられ、4月25日から大阪府は兵庫県、京都府、東京都の3都府県とともに再び緊急事態宣言下に入った（6月20日に解除）。

この状況下、新入生向けの図書館オリエンテーションは動画配信により実施した（前期授業はオンラインにより実施され、6月21日から1限目を除き、対面授業を再開された）。

総合図書館中百舌鳥および羽曳野図書センターは4月15日より平日の開館時間を授業のない日の開館時間（9：00～19：00）に短縮、りんくう図書室は休室とした（そのほかの図書室の開館時間は変更なし）。感染防止対策として、2020年度に実施した閲覧席数の制限や対面席にアクリルパネルを設置、手指消毒等を継続して実施した。ラーニングcommonsは年度当初、5月から通常利用を想定し学生ライブラリースタッフの配置も計画していたが、当面の間、実施を見合わせた。

#### 2021年7月～9月（第5波）

6月20日に緊急事態宣言が解除され、6月21日から対面授業が開始された（ただし朝の通勤ラッシュ時と学生の通学時間帯が重なることへの対応として、1限目はオンライン授業）。しかし、6月21日にまん延防止等重点措置が発出され（～7月11日、その後延長）、いったんは減少したかに見えた新規感染者数も増加し、8月2日に再び緊急事態宣言が発出された（～9月30日）。

7月中旬～8月上旬は対面授業再開および前期試験の時期にあたり、入館者数が増える傾向にあった。このため、学生のキャンパス内での学習環境を確保すべく、C5棟ラーニングcommonsに加えB2棟ラーニングcommons内メインエリアを個人学習用のスペースとして運用を開始した（7月12日～8月16日）。また、前期には初年次ゼミナール（全学初年次生の必修科目）でグループでの課題提出が求められることへの対応として、総合図書館中百

舌鳥内のグループ研究室に加え、B2棟ラーニングcommonsのプレゼンテーションエリアに個机6台2セットをアクリル板つきで固定配置し、事前予約によるグループ学習用に整備した（7月12日～8月6日）。前期試験終了後、B2棟ラーニングcommonsは閉室した。

#### 2021年10月～12月

全国的に新規感染者数が減少し、10月1日に緊急事態宣言が解除され、本学の後期授業は原則対面実施となった。総合図書館中百舌鳥と羽曳野図書センターは後期開始日より平日9：00～19：00の短縮開館とし、11月15日から8：30～21：00の通常開館とした（経済経営法律系図書室およびヒューマンサイエンス系図書室は通常開館）。また、前期試験終了後に閉室したB2棟ラーニングcommonsは、メインエリアを個人学習用のスペースとして利用を再開した。12月13日から学生ライブラリースタッフを平日10：30～17：30に配置するとともに（～2月4日）、B2棟ラーニングcommonsのプレゼンテーションエリア（仕様は7月同様）を利用可能とした（～3月31日）。

この期間は、市中での各種イベントや飲食店の営業などが、制限は残りながらも、コロナ前の日常へと戻りつつあった。学内では学生の課外活動やイベントについて、感染対策を徹底することを条件に実施可能とする方針が示され、図書館でも4月に計画していた新入生歓迎イベント（教員によるトークイベント「知の泉ランチタイムトーク」）をオンラインで実施した（11月1日～2日）。また、12月1日には例年実施している本学貴重図書特別部会主催の講演会をI-siteなんばで2年ぶりの対面形式により実施した。

#### 2022年1月～3月（第6波）

2022年の年明けとともに新規感染者数が沖縄や広島、山口で増え始め、またたく間に全国で増加した。感染力が強いオミクロン株によるCOVID-19感染である。1月6日に沖縄、広島、山口の3県にまん延防止等重点措置が出されたが、その後、各都道府県で過去最多の新規感染者数を日々更新する状況となった。大阪府では1月25日に大阪モデルがレッドステージ（非常事態）となり、1月27日にまん延防止等重点措置の対象地域となった（～2月20日、その後3月21日まで延長）。1月21日から授業は原則オンラインでの実施となったが、後期試験は「全面オンライン試験の実施は困難」ということで対面での実施となった。これを受け、図書館は後期試験終了（2月4日）まで通常開館（8：30～21：00）とした。

### 2 図書郵送サービス・学内文献複写配送サービス

2020年度に実施した図書郵送サービスは、2021年度当初、対面授業を基本とする大学の方針に基づき「学生教員の来館利用は可能」と判断し実施しないこととした。しかし、第4波における感染状況の悪化により授業がオンライン実施となったため、5月から図書郵送サービスを再び実施することにした（前期授業期間終了日まで）。学内文献複写配送サービスは2021年度も継続して実施した。図書郵送サービス、学内文献複写配送サービス（及び校費による学外文献複写依頼分の配送）の送料はいずれも図書館負担とした（参照「表3 文献複写物郵送サービス」p14）。

### 3 非来館型サービス

感染拡大により授業がオンライン形式になり学生教員の来館利用の機会が減少した2020年度の経験から、学外からでも図書館資料や機能を利用できる非来館型サービスの充実を図った。紙資料の利用については、前項で記載した「図書郵送サービス」や「学内文献複写配送サービス」を実施した。電子ジャーナルや電子ブック、データベースなどデジタル資料の利用については、VPN接続で学外から利用可能である旨を周知し、データベース提供元が開催するオンライン講習会の開催情報を図書館ウェブサイトの「お知らせ」に随時掲載し案内した。利用相談等のレファレンス対応は、オンラインフォームで受付、メールで回答することとした。

また、初年次生の全学必修科目である「初年次ゼミナール」の担当教員には、2020年度に続いて授業テーマに関するパスファインダーの作成協力を申し出て、依頼のあった35クラス分（96クラス中）を作成提供し、OPAC検索、ウェブ上の学術情報検索の利用について案内した。

なお、当館では、従来から学士課程科目のシラバスで担当教員が推薦する参考書のうち入手可能なものをすべて収集してきたが、2022年度から教科書も収集対象になり、教科書のうち電子ブックで入手可能なものは、冊子体と併せて購入した（45点）。

### 4 イベント

#### 新入生歓迎企画

2021年度の実施状況は以下のとおり。

- テーマ展示「新入生に薦める100冊の本」  
通常の展示（展示場所：総合図書館中百舌鳥及び羽曳野図書センター）の他に、オンラインによるイベントとして「新入生に薦める100冊の本」で推薦された本を、推薦教員が3分程度の動画で紹介する連載企画「My Favorite Books」を2回実施した（学内限定公開）。好評だったため、今後も継続して実施する予定である。
- 「楽しみながら英語力がつく英語多読入門」  
第4波襲来の時期に重なり実施見送り。
- 貴重書庫ツアー  
第4波襲来の時期に重なり実施見送り。
- 「知の泉ランチタイムトーク」  
第4波襲来の時期に重なり実施を見送り、後期11月にオンライン形式に変更して2回開催した。

### 学生選書

本学後援会の協力により例年実施している学生選書をウェブ選書により実施した。

- 募集方法・期間：オンラインフォームでの申し込み  
（5月7～23日）
- 事前説明会・日時：学生選書の趣旨及び選書方法等の説明会をZoomにより2回に分けて開催  
（6月7日11時～、13時～）
- 選書方法：選書委員39名によるウェブ選書（6月7～20日）
- 展示：総合図書館中百舌鳥（275冊）羽曳野図書センター（69冊）りんくう図書室（36冊）で展示  
（10月11日～1月19日）  
選書委員の推薦コメントをブログで掲載

### 貴重図書特別部会講演会

本学貴重図書特別部会講演会をI-siteなんばで実施した（12月1日）。企画準備を始めた9月は第5波の最中だったため、オンライン（Zoomウェビナー）形式と対面形式の両方を想定して準備を進めた。結果として、2年ぶりに対面形式で開催することができた。

### 5 今後に向けて

2021年度も、COVID-19に翻弄された2020年度と同様、図書館サービスをどうするか判断に迷うことの多い一年だった。ワクチン接種など予防策は進みながらも、ウイルスの変異株などにより感染者数はむしろ増加する状況が続いた。マスク着用、3密回避、手指消毒など「新しい生活様式」を繰り返し呼びかけつつ、ウィズコロナのイメージを共有しながら、日常をとりもどすことを模索した。今後、大学図書館は、非来館型サービスをより強化していくことが求められるだろう。2020～2021年度の歩みを振り返りながら、これまでの図書館にはない、新たなサービスを検討していきたい。

参照資料 表1 2021年COVID-19感染症への対応

時期	2021年4月1日～	2021年4月15日～	2021年4月19日～	2021年7月12日～
大阪府における感染拡大防止の取り組み状況	4月5日～4月24日まん延防止等重点措置 4月1日～大阪モデル「イエローステージ」 4月7日～大阪モデル「レッドステージ1」 4月14日～大阪モデル「レッドステージ2」	4月5日～4月24日まん延防止等重点措置 4月14日～大阪モデル「レッドステージ2」	4月5日～4月24日まん延防止等重点措置 4月25日～6月20日緊急事態宣言 6月21日～7月11日まん延防止等重点措置	7月12日～8月1日まん延防止等重点措置 8月2日～9月30日緊急事態宣言
運用変更の検討理由		4月13日開催の第21回大阪府立大学 新型コロナウイルス緊急対策本部会議（以下、緊急対策本部会議という。）及び4月14日開催予定（当時）の第45回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議を見据えた全面休講措置があったことを受けて検討。	4月14日開催の第45回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議を踏まえた第22回緊急対策本部会議での決定を受けて検討。	7月1日開催の学術情報課打合せでの意見及び対面授業開始による総合図書館中百舌鳥及びラーニングコモンズへの学生来訪数増加を受けて検討。
図書館等開館時間	(1)総合図書館中百舌鳥 ⇒通常どおり (授業のある期間) 平日8:30～21:00・土日10:00～17:00 祝休館 (授業のない期間) 平日9:00～19:00・土日祝等休館 (2)羽曳野図書館センター ⇒通常どおり (授業のある期間) 平日8:30～21:00・土10:30～19:00 ・日祝休館 (授業のない期間) 平日9:00～19:00・土10:30～19:00 ・日祝等休館 (3)経済経営法律系図書室・ヒューマンサイエンス系図書室 ⇒変更なし（通常どおり） (4)りんくう図書室 ⇒変更なし（休室）	(1)総合図書館中百舌鳥 (2)羽曳野図書館センター ⇒（授業のある期間） 平日9:00～19:00（授業のない平日に準じる）・土日祝は通常どおり (3)経済経営法律系図書室・ヒューマンサイエンス系図書室 ⇒変更なし（通常どおり） (4)りんくう図書室⇒変更なし（休室） ※(1)(2)(3)は大学院授業が各部署の判断とすることや来館者分散の観点から閉館措置は取らない。	変更なし	変更なし
C5棟 ラーニングコモンズ	使用形式:一人席(発話を伴わない個人学習用)として利用可 開室時間:通常どおり (授業のある期間)総合図書館中百舌鳥と同じ (授業のない期間) 平日9:00～19:00・土日祝等休室	使用形式:一人席として利用可 開室時間:授業のない期間に準じる（総合図書館中百舌鳥と同じ）	変更なし	変更なし
B2棟 ラーニングコモンズ	閉室 5月中旬以降オープン予定 ・グループ学習用に机、椅子を固定 ・アクリルパネルを設置 ・学生ライブラリースタッフを配置	変更なし	オープン/は当面延期	以下の運用で期間を限定して開室 <開室期間>8月16日まで(定期試験終了日まで) <開室時間>9:00～18:00(平日のみ) <B2棟ラーニングコモンズ内の配置> ◆メインエリア:一定間隔(1m程度)で個別机を配置。発話を伴わない個人学習に使用 ◆プレゼンテーションエリア:アクリル板を設置した個別机4台1組×2セットを配置し予約制で利用、運用途中で6台1組に変更 ◆ファミレス席:適切な運用が難しく閉鎖
総合図書館中百舌鳥	利用可(アクリルパネルを設置)	変更なし	変更なし	変更なし
図書貸出	通常どおり (4月1日より郵送サービス中止)	変更なし	5月6日より郵送サービスを実施(前期授業期間中)	変更なし
文献複写	学内文献:無料代行複写、郵送サービスを実施 学外文献:校費依頼分は郵送サービスを実施	変更なし	変更なし	変更なし
総合図書館中百舌鳥 1F情報教育PC	通常どおり利用可 (アクリルパネルを設置)	変更なし	利用可(利用可能台数を制限)	変更なし
学外からの 電子リソース利用	期間限定サービス(版元によるDB同時アクセス緩和又は解除)の一部終了あり	変更なし	変更なし	変更なし
府民登録者サービス	事前予約による貸出 入館不可	変更なし	変更なし	変更なし
初年次ゼミナール 図書館ツアー	ワイヤレスガイドシステム(マイク、イヤホン)を使用して実施	4月15日・16日予定分は原則中止 (代替措置として動画視聴により対応。 資料は学生が来学した際に図書館で手渡し。)	4月21日以降予定分も原則中止 (代替措置として動画視聴により対応。 資料は学生が来学した際に図書館で手渡し。)	変更なし
新入生歓迎等 イベント	・図書展示(新入生に薦める本、貴重図書) 貴重図書展示は、展示資料の一部についてウェブ展示を同時開催	(1)知の泉ランチタイムトーク(対面形式) 4月15日開催予定分 中谷直樹教授 4月21日開催予定分 山東功教授 のいずれも延期 ⇒11月1日、2日にオンライン形式で開催 (2)楽しみながら英語力がつく英語多読入門・貴重書庫ツアー(対面形式) ⇒後日に延期決定(代替日未定)	変更なし	変更なし

2021年8月6日～	2021年8月17日～	2021年9月27日～	2021年10月11日～	2021年11月15日～	2021年12月13日～ 2022年3月31日
8月2日～9月30日緊急事態宣言	8月2日～9月30日緊急事態宣言	8月2日～9月30日緊急事態宣言	10月1日～緊急事態宣言解除		1月27日～3月21日まん延防止等重点措置
					1月8日～大阪モデル「警戒（黄信号）」 1月24日～大阪モデル「非常事態（赤信号）」 3月29日～4月24日大阪モデル「非常事態（赤信号）」
8月3日開催の第27回緊急対策本部会議での決定を受けて検討。	授業のない期間（夏季休業期間）のため。	9月7日開催の第28回緊急対策本部会議での決定（9月27日～10月10日の間、講義：原則オンライン授業、実験実習演習：極力オンライン授業、大学院：上記を基本的に各研究科判断）を踏まえて検討。	9月28日開催の第29回緊急対策本部会議での決定（10月11日より授業形態に拘わらず対面授業を基本方針とする。課外活動は10月14日まで原則全面禁止、10月15日以降は許可を得た課外活動団体が制限的活動可。イベントは原則控える（不特定多数の参加は中止または延期。）を踏まえて検討。	11月9日開催の第30回緊急対策本部会議での決定を受けて検討。	上記の決定を受けて学生ライブラリースタッフの雇用等を検討。
変更なし	(1)総合図書館中百舌鳥 ⇒通常どおり (夏季休業期間) 平日9:00～17:00・土日祝等 休館 (2)羽曳野図書館センター ⇒通常どおり (授業のない期間) =夏季休業期間 平日9:00～19:00・土10:30 ～19:00・日祝等休館 (3)経済経営法律系図書室・ヒュー マンサイエンス系図書室 ⇒変更なし（通常どおり） (4)りんくう図書室 ⇒変更なし（休室）	(1)総合図書館中百舌鳥 (2)羽曳野図書館センター ⇒(授業のある期間) 平日9:00～19:00（授業のない平日に準じる）・土日祝は通常どおり (2)経済経営法律系図書室・ヒュー マンサイエンス系図書室 ⇒変更なし（通常どおり） (3)りんくう図書室 ⇒変更なし（休室）	変更なし	(1)総合図書館中百舌鳥 ⇒通常どおり (2)羽曳野図書館センター ⇒通常どおり (3)経済経営法律系図書室・ヒュー マンサイエンス系図書室 ⇒変更なし（通常どおり） (4)りんくう図書室 ⇒変更なし（休室）	変更なし
変更なし	使用形式：一人席として利用可 開室時間：通常どおり（平日9:00～19:00・土日祝休室）	使用形式：一人席として利用可 開室時間：授業のない期間に準じる（総合図書館中百舌鳥に同じ）	変更なし	使用形式：一人席として利用可 開室時間：通常どおり	変更なし
B2棟ラーニング commons のプレゼンテーションエリアを閉鎖する。	閉室	変更なし	以下の運用で開室 <開室時間> 9:00～18:00（平日のみ） ◆メインエリア：一定間隔（1m程度）で個別机を配置。発話を伴わない個人学習に使用。 ◆その他：閉鎖	開室時間を通常どおりに変更 <開室時間> 授業のある期間 8:30～21:00（平日のみ） 授業のない期間 9:00～17:00（同上）	開室時間：変更なし 学生ライブラリースタッフを配置 (12月13日～2月4日平日10:30～17:30) ◆プレゼンテーションエリア：アクリル板を設置した個別机6台1組×2セットを配置し予約制で利用（12月13日～3月31日）
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	郵送サービス終了 (8月16日前期授業期間終了)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	・知の泉ランチタイムトーク開催（オンライン形式） 11月1日 山東功教授 11月2日 中谷直樹教授	変更なし

表2 2021年度の感染防止策（総合図書館中百舌鳥）

場所	方法
図書館ロビー	手指消毒液の設置 注意喚起ポスター 机椅子の固定 ビニールカーテンの設置
カウンター	ビニールカーテンの設置
OPAC端末	使い捨て手袋等の配置
閲覧席	席数制限 間仕切り設置
グループ研究室	アクリル板の設置 席数制限 消毒液の配置
情報教育用PC	席数制限 使い捨て手袋の設置 消毒液の配置
ラーニングcommons	手指消毒液の配置 消毒液の配置 グループ学習用から個人学習席へのレイアウト変更 机椅子の固定 アクリル板を設置した一人用机を4台から6台組み合わせてグループ学習用とし固定

表3 図書・文献複写物郵送サービス

年/月	図書郵送（人数） <sup>注1)</sup>		文献複写物郵送（人数） <sup>注2)</sup>	
	総合図書館 中百舌鳥	羽曳野 図書センター	総合図書館 中百舌鳥	羽曳野 図書センター
2021/4	—	—	31 (1)	23 (2)
2021/5	36	10	59 (5)	8 (1)
2021/6	23	10	65 (26)	10 (2)
2021/7	9	6	49 (13)	14 (1)
2021/8	8	1	39 (15)	30 (11)
2021/9	—	—	43 (18)	33 (13)
2021/10	—	—	51 (15)	14 (4)
2021/11	—	—	43 (12)	12 (3)
2021/12	—	—	36 (11)	13 (1)
2022/1	—	—	30 (11)	11 (4)
2022/2	—	—	27 (3)	8 (0)
2022/3	—	—	4 (0)	3 (0)
合計	76	27	477 (130)	179 (42)

注1) 実施期間：2021.5.6~8.16

注2) ( ) は学外文献複写郵送分（校費のみ）内数

## ■ Library Months

学生の図書館利用や読書活動の促進を図るため、Library Monthsと称して2014年度から毎年春と秋に様々なイベントを企画している。

### 1 Library Months Spring (期間：2021年4月2日～6月30日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた来場型イベントは中止し、展示と動画コンテンツの提供をおこなった。

#### (1) テーマ展示「新入生に薦める100冊の本」

期 間：4月2日～6月30日

新入生を対象に本学教員が選んだ「学生に今読んでほしい本」を、総合図書館中百舌鳥および羽曳野図書センターで展示した。期間中のべ201冊の貸出利用があった。

また、冊子「読ン得本々」を作成し新入生に配布した。同冊子は大阪府立大学学術情報リポジトリOPERAに掲載し公開した。



#### (2) 動画コンテンツ「My Favorite Books」

公開日：4月21日

教員自らが撮影して新入生におすすめの一冊を紹介する動画を、図書館ウェブサイトにて学内限定公開した。

第1回は現代システム科学系の林佑樹准教授が「教養の書（筑摩書房）」を紹介した。



### 2 Library Months Autumn (期間：2021年10月22日～11月2日)

#### (1) 動画コンテンツ「My Favorite Books」

公開日：10月22日

第2回は現代システム科学系の宮脇幸生教授が「裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち（太田出版）」を紹介した。



#### (2) 知の泉ランチタイムトーク

##### 第1回

日 時：11月1日（月） 12：15～12：45

場 所：オンライン（Zoom）

講 師：山東 功 教授

参 加：16名

「『国語』の見方・考え方」をテーマに、「国語」と「日本語」との関係や、教育の近代化と教科の成立、「国語」の学びの意味についてお話しいただいた。講義資料として外国で見られる日本語の資料や近代の国語教材の一部も示され、終了後には参加者から日本語の話法や近代の教育方法についての質問が多く寄せられた。

##### 第2回

日 時：11月2日（火） 12：15～12：45

場 所：オンライン（Zoom）

講 師：中谷 直樹 教授

参 加：18名

「人類を救う海のはたらき」をテーマに、海のスケール、そして海が持つ仕組みと地球が受ける影響についてお話しいただいた。先生ご自身が海洋調査中に撮影された美しい海の写真が共有され、専門的な内容は図表を用いてわかりやすく説明されていた。講義終了後、参加者からは特に温暖化や環境問題に関する質問が挙がっていた。

いずれも終了後に、図書館ウェブサイト上でアーカイブ動画、講演資料、Q&Aを公開した（学内限定）。

## ■ テーマ展示

学生の読書活動促進のため、総合図書館中百舌鳥と羽曳野図書センターでテーマ展示を実施している。総合図書館中百舌鳥では、Library Monthsと連動したテーマでも実施した。（“Library Months”参照）

### テーマ展示一覧

場 所	タイトル	開 催 日	展示冊数	貸出数
総合図書館中百舌鳥	新生に薦める100冊の本 <sup>※1</sup>	2021年4月2日～6月30日	104	189
	眺めて楽しむ本の世界	2021年7月1日～10月10日	45	112
	学生選書2021 <sup>※2</sup>	2021年10月11日～2022年1月19日	275	706
	大阪府立大学図書館HISTORY <sup>※3</sup>	2022年1月20日～3月25日	23	—
羽曳野図書センター	新生に薦める100冊の本 <sup>※4</sup>	2021年4月2日～6月30日	32	12
	学生選書2021 <sup>※5</sup>	2021年10月11日～2022年1月19日	69	96

※1 新生を対象に本学教員が推薦する100冊を展示

※2 中百舌鳥キャンパス所属の学生選書委員が選んだ本を展示

※3 展示資料は「館内閲覧のみ」とした

※4 「新生に薦める100冊の本」のうち、看護学研究科、総合リハビリテーション学研究科教員が推薦する本を展示

※5 羽曳野キャンパス所属の学生選書委員が選んだ本を展示

## ■ 貴重図書特別部会講演会 『大阪府立大学・大阪市立大学の貴重書』

本学が所蔵する貴重図書を広く学外の方に知ってもらうために、毎年、上方文化研究センターと共催し大阪府立大学貴重図書特別部会講演会を開催している。本年度の講演会は、桃山学院大学の松澤俊二准教授、大阪市立大学の奥野久美子准教授を講師に招き、『大阪府立大学・大阪市立大学の貴重書』をテーマに実施した。

- ・日 時 2021年12月1日（水） 13：30～16：30
- ・場 所 I-siteなんば
- ・参加者 10名

### ◇講演会

#### 第一部

講 師：松澤 俊二 氏

（桃山学院大学社会学部准教授）

題 目：児山文庫より見る「近代和歌」の五〇年

要 旨：児山信一（1900～1931）は大阪府女子専門学校の教授を務め、歌人としても活躍した。児山の旧蔵書を中心とする、本学の「児山文庫」収蔵の名著、希書を用いながら、児山の生涯をたどるとともに、近代和歌の発展、展開の様相が紹介された。



松澤氏による講演

#### 第二部

講 師：奥野 久美子 氏

（大阪市立大学文学研究科准教授）

題 目：大阪市立大学恒藤恭旧蔵資料の紹介—芥川龍之介との交友、島根県明星派歌人とのかかわりなど—

要 旨：大阪市立大学の初代学長である恒藤恭（1888～1967）は、芥川龍之介の親友としても知られている。大阪市立大学で所蔵する恒藤恭関連資料の文学研究への活用例として、芥川の交友関係に関する研究への援用や、恒藤の故郷島根県での明星派短歌活動とのかかわりといった事例が紹介された。



奥野氏による講演

## ■ 貴重図書展示

貴重図書特別部会において年間計画を立て、本学が所蔵する貴重図書を総合図書館中百舌鳥1階、経済・経営・法律系図書室及びI-site なんば3階で展示している。また、総合図書館中百舌鳥の展示資料の一部はウェブ上でも展示した。展示内容は以下のとおり。

### <総合図書館中百舌鳥 1階貴重書展示コーナー> (\*は同時開催したウェブ展示資料)

#### ■『貴重書名品展』2021年4月～6月

当館所蔵の貴重図書のなかから、室町時代の物語を描いた「物臭太郎絵巻」などを展示した。

##### 展示資料 11点

- \*①物臭太郎絵巻 写 一巻
- \*②あやね竹 刊 三冊
- \*③京芝居番附 刊 一冊
- \*④伊勢物語 伝兼好筆 写 一冊
- \*⑤おさな源氏物語 刊 五冊
- \*⑥鑓の権三重帷子 刊 一冊
- \*⑦猫の墓 夏目漱石自筆原稿 十二枚
- \*⑧英和对訳袖珍辞書 刊 一冊
- \*⑨神曲 刊 一冊
- \*⑩Momotarohoka 刊 二十冊
- \*⑪[讃岐国小豆島絵図] 一鋪



物臭太郎絵巻

#### ■『絵で見る古典』2021年7月～9月

当館所蔵の貴重図書のなかから「道成寺縁起絵巻」など絵入で楽しめる資料を展示した。

##### 展示資料 10点

- \*①道成寺縁起絵巻 写 二巻
- \*②源氏物語錦絵 刊 一合
- \*③はちかづき 写 三冊
- ④新版大字伊勢物語 刊 二冊
- \*⑤絵入竹取物語 刊 大二冊
- \*⑥和泉名所図会 刊 四冊
- \*⑦台所唐人おどけ双六 一枚
- \*⑧麻疹太平記(雑具魚鳥山海餅酒読切大合戦) 刊 小一冊
- \*⑨画本古鳥図賀比 刊 一冊
- \*⑩料理切形秘伝抄 刊 横三冊



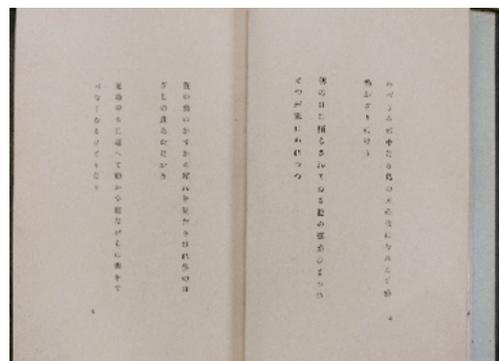
道成寺縁起絵巻

#### ■『秋の貴重書名品展』2021年10月～12月

当館所蔵の貴重図書のなかから、代表的な資料と、12月に開催した貴重図書特別部会講演会にちなんで「児山文庫」収蔵資料の一部を展示した。

##### 展示資料 13点

- \*①物臭太郎絵巻 写 一巻
- \*②源氏飛双六 写 一枚
- \*③真景累ヶ淵 刊 一冊
- \*④ゑほしをり 写 二冊
- \*⑤いぶき 刊 一冊
- \*⑥扇面単語図解 一枚
- \*⑦和英商売対話集 初編 刊 一冊
- \*⑧住吉名勝図会 刊 大五冊
- \*⑨風の音・渡舟 幸田露伴自筆原稿 一〇枚・一八枚
- ⑩幸田露伴全集 第32巻 一冊
- ⑪埋木廻花 刊 二冊 (児山文庫収蔵)
- ⑫鶏冠木 一冊 (児山文庫収蔵)
- \*⑬夜あけの霧：歌集 一冊 (児山文庫収蔵)



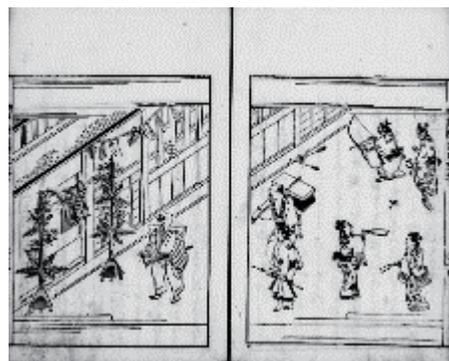
夜あけの霧：歌集

## ■『歳時記“春”』2022年1月～3月

「日本歳時記」「風月往来」など旧暦の春や干支にちなんだ資料を展示した。

### 展示資料 11点

- ①改正月令博物筌 春の部 刊 横十二冊
- ②大和名所図会 卷之六 刊 第七冊
- \*③五節句飾之巻 写 一卷
- \*④百躰百人一首 折 二帖
- ⑤俳諧歳時記 刊 横二冊
- \*⑥日本歳時記 刊 大三冊
- ⑦風月往来 刊 大一冊
- ⑧民間年中故事要言 卷之一 刊 大七冊
- \*⑨当流節用料理大全 刊 大一冊
- \*⑩御菓子雛形 写 横一冊
- ⑪和漢三才図会 刊 大八十一冊



日本歳時記

## <経済・経営・法律系図書室 展示コーナー>

### ■『府大の隣りの世界遺産 —ニサンザイ古墳—』2021年4月7日～2021年9月22日

「和泉国大鳥郡土師村文書」より

### 展示資料 3点

- ①土師村絵図
- ②諸用控
- ③忘備録

### ■『堂島米市場』2021年9月27日～2022年3月31日

### 展示資料 2点

- ①摂津名所図会
- ②米切手



堂島米市場

## <I-siteなんば3階 展示コーナー>

### ■『「源氏物語錦絵」で見る平安貴族の遊び』2021年4月1日～2021年10月21日

「源氏物語錦絵」(複製)より

### 展示資料 6点

- ①表紙
- ②絵合
- ③胡蝶
- ④梅枝
- ⑤若菜下
- ⑥匂宮

### ■『広重魚貝板画』2021年10月22日～2022年3月31日

「広重魚貝板画」(複製)より

### 展示資料 4点

- ①鯛に山椒
- ②車海老・鱒にたで
- ③鮑・さよりに桃
- ④ぼらにうど



広重魚貝板画

## ■ 利用案内・講習会

本学所蔵資料や本学で利用可能な電子ジャーナル・データベースを有効に活用してもらうため、学生や教職員を対象とした利用案内・講習会等を実施している。

### 1 全学共通科目「初年次ゼミナール」での図書館ツアー

「初年次ゼミナール」は全学1年次生必修の科目である。少人数クラスで実施され、「知識・情報の収集が積極的にできる」こと、「得た情報や自分の考えを表現・発表できるようにする」ことなどが目標とされており、その目標達成の一助となるよう、授業担当教員からの申し込みによって図書館ツアーを実施している。

#### 実施状況

年度当初は4月8日～4月28日にかけて実施予定であったが、本学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として4月15日・16日に休講措置がとられ、4月19日以降の授業を極力オンラインに切り替えることとなったため、図書館ツアーのキャンセルや延期を余儀なくされた。

- 実施クラス数 24クラス（初年次ゼミナール開講 95クラス）
- 実施期間 4月8日～5月12日
- 参加人数 356名
- 内 容 施設案内、利用方法の説明  
（グループ研究室、貸出パソコンを含む）
- 開始時刻を授業前半と後半に分けて45分間で実施

図書館ツアーの代替として、昨年度より引き続き、図書館ウェブサイト及び本学YouTubeチャンネル（OPU Channel）で「動画で見る図書館・ラーニングコモンズ」等が視聴できることを紹介した。

#### 「動画で見る図書館・ラーニングコモンズ」

（図書館ウェブサイト <https://www.osakafu-u.ac.jp/library/use/center/vtour/>）

### 2 オンデマンド講習会

本学学生・院生・教職員を対象に、学類、研究室、ゼミ（初年次ゼミナール含む）、講義等の単位または個人での申込みを受け付け、日時、場所、内容等は申込者の要望に合わせて実施している。

#### 実施状況

前項の図書館ツアーと同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年どおりの開催とはならなかった。

- 実施回数：2回（5月6日、5月18日）、各90分
- 参加者数：2名（各1名ずつ）
- 講習内容

- (1)館内案内
- (2)蔵書検索（本学OPAC及びWebサービス利用法）
- (3)国内文献の探し方（EJ・DB\*利用法）
- (4)海外文献の探し方（EJ・DB\*利用法）
- (5)文献整理法（おもにMendeleyの利用法）

上記を希望に応じて組み合わせて実施

\*EJ：電子ジャーナル、DB：データベース

### 3 データベース講習会

感染拡大防止のため対面でのデータベース講習会は実施せず、代替としてベンダーが開催するオンライン講習会情報を提供した。その他に学生へのデータベース利用方法等オンラインチュートリアル提供のため、データベースの検索・活用方法等の動画を作成し、本学YouTubeチャンネル（OPU Channel）を通じて配信した。

作成動画、及びベンダー開催のオンライン講習会情報で図書館ウェブサイトに公開したものは以下のとおり。

#### 文献検索法動画・情報収集ガイド

（図書館ウェブサイト [https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20200828\\_2/](https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20200828_2/)）

#### 利用方法紹介用の作成動画

データベース名	タイトル	URL
OPAC(蔵書検索)	OPAC 使い方	<a href="https://youtu.be/TcT2x2O6h1M">https://youtu.be/TcT2x2O6h1M</a>
EDS (ディスカバリー サービス)	アクセス方法	<a href="https://youtu.be/ZXwdPWJ-QNk">https://youtu.be/ZXwdPWJ-QNk</a>
	基本検索	<a href="https://youtu.be/xDBKLunuPQ0">https://youtu.be/xDBKLunuPQ0</a>
	検索結果の見方	<a href="https://youtu.be/yW_SChoPETY">https://youtu.be/yW_SChoPETY</a>
CiNii	便利な使い方	<a href="https://youtu.be/zUvt3xzMTIQ">https://youtu.be/zUvt3xzMTIQ</a>
	アクセス方法	<a href="https://youtu.be/ChZnub0MNKE">https://youtu.be/ChZnub0MNKE</a>
Google Scholar	検索方法CiNii	<a href="https://youtu.be/XZePCj04dGA">https://youtu.be/XZePCj04dGA</a>
	Google Scholar 検索ガイド	<a href="https://youtu.be/GGGJrwwKofk">https://youtu.be/GGGJrwwKofk</a>

<ベンダー開催のオンライン講習会情報（図書館ウェブサイトで掲載）>

タイトル	開催日	URL
エルゼビア社データベースウェビナー ScienceDirect・Scopus・Mendeley	5月20日 5月21日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210401_2/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210401_2/</a>
	7月13日 7月14日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210705/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210705/</a>
	9月16日 9月17日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210901_3/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210901_3/</a>
	11月11日 11月12日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20211028/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20211028/</a>
	3月8日 3月9日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20220303_3/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20220303_3/</a>
EBSCO社データベース オンライン講習会 CINAHL、EBSCO host	5月25日 5月28日 6月10日 6月14日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210524/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210524/</a>
ABI/INFORM Collectionオンライン講習会	6月16日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210512/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210512/</a>
SciFinder-nオンライン講習会	6月23日 7月14日 7月28日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210622/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210622/</a>
	7月16日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210716/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210716/</a>
EBSCO社オンライン利用講習会 EBSCO host、EBSCO eBooks	7月2日 7月7日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210623_3/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210623_3/</a>
	3月10日 3月15日 3月17日 3月22日 3月24日 3月29日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20220303/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20220303/</a>
SciFinder-nオンライン講習会	9月3日 10月13日	<a href="https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210903_2/">https://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20210903_2/</a>

## ■ 主な刊行物

『大阪府立大学 図書館利用ガイド2021』 2021年4月1日発行 全25ページ



本学図書館の利用方法ならびに資料の探し方を掲載。

- ・ 図書館施設案内
- ・ 図書・学術資料の利用
- ・ ラーニングコモンズ
- ・ 貸出パソコンサービス
- ・ フロアガイド



学術情報リポジトリOPERAへリンク

『読ん得本々』 2021年4月1日発行 全25ページ



大阪府立大学生活協同組合、大阪公立大学共同出版会と共同企画・制作。  
本学教員が新生入生に薦める本を紹介。



学術情報リポジトリOPERAへリンク

『アウリオン第50号』 2021年4月1日発行 全4ページ



- ・ 新生入生に薦める100冊の本
- ・ 総合図書館中百舌鳥に行ってみよう
- ・ 自宅で使える！ウェブサービス
- ・ 学生選書
- ・ おすすめ電子ブック
- ・ 編集後記



学術情報リポジトリOPERAへリンク



- ・ 図書館History
- ・ 大阪府立大学図書館の貴重書
- ・ 大阪府立大学（大阪女子大学、大阪府女子専門学校）出身作家
- ・ アウリオンHistory
- ・ 知恵の伝承
- ・ 編集後記



学術情報リポジトリOPERAへリンク